

今月のKYT（危険予知トレーニング）

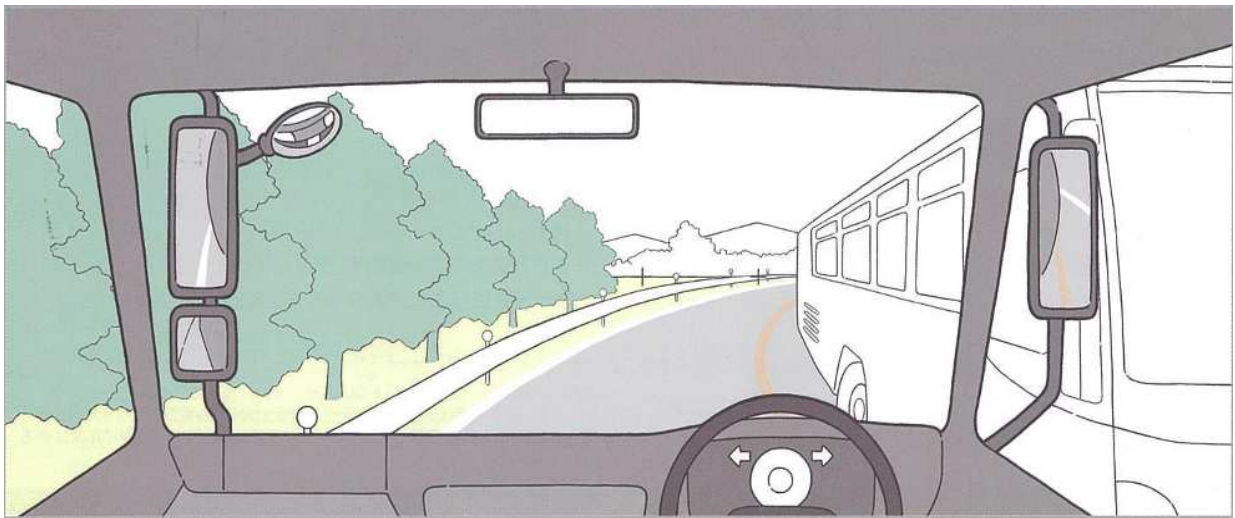
◆ 山あいの片側1車線道路を走行しています。

- 右にカーブしている上り坂の頂上付近に差し掛かりました。
- 右側にはドライブインがあり、駐車場もあります。
- 対向車線から観光バスがやって来ました。
- 自車はこのまま道なりに進行しようと思うのですが・・・。

【解説は次ページ】

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！

Q どのような危険がありますか？

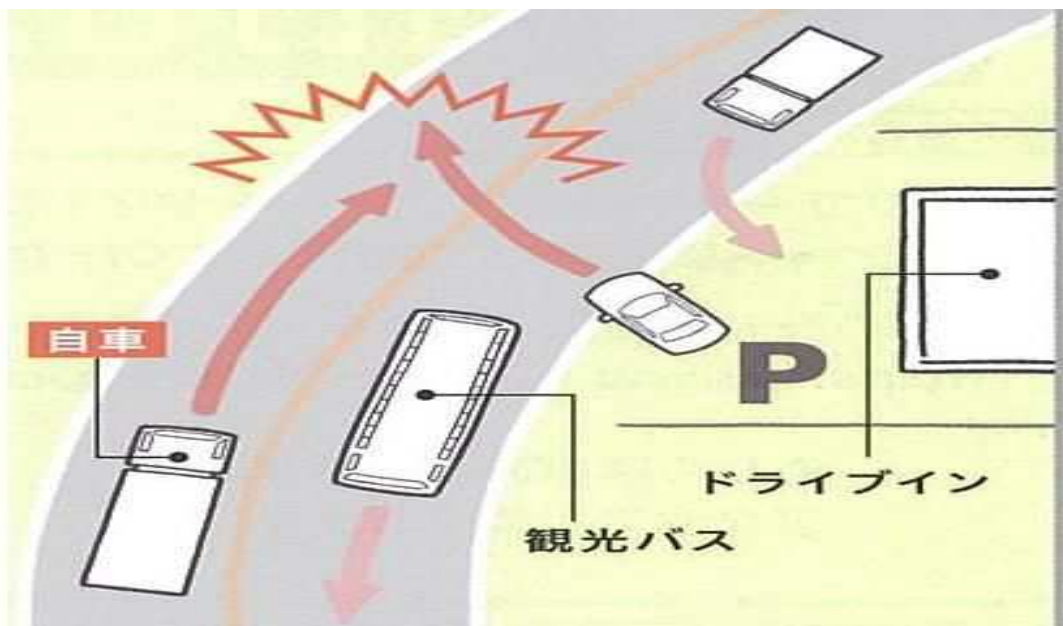


◎ 予想される危険を記入して下さい。 氏名 _____

1 _____

2 _____

3 _____



このような危険が！

- ✓ のぼり坂の頂上付近のカーブは、先が見通しにくい場所です。さらに対向からきた観光バスがちょうど死角となって、ドライブインの状況が確認できません。もし駐車場から自車線側に出てくる車があった場合、衝突する可能性があります。
- ✓ 駐車場から出ようとする車も、車列が途切れない場合には、少々無理しても出ようとするかもしれません。

このような運転を！

- ✓ 道路交通法では、「徐行すべき場所」のひとつとして「のぼり坂の頂上付近」が規定されています。徐行とは「直ちに停止できるような速度で進行する」ことです。今回の場合も駐車場から出てくる車がいることを予測して、徐行しましょう。
- ✓ 大型車両が死角になりそうな場合には、なおさら見通しが悪くなるので一層慎重に運転する必要があります。

KYT(危険予知訓練)は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。
日々 KYTを行い、危険感受度を高めて防衛運転に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。